

令和3年度 中学生模擬議会 記録

1 事前学習

日時：第1回目 令和3年7月6日（火） 午後2時50分～午後3時40分
第2回目 令和3年7月9日（金） 午前10時40分～午後0時30分

会場：上越市立清里中学校

出席者：清里中学校1年生27人、先生2人

議会改革推進会議委員

- ・議会の仕組みや役割について学ぶとともに、模擬議会の目的を理解した。
- ・総務、厚生、農政建設、文教経済の4常任委員会ごとのグループに分かれ、事前に生徒一人一人が挙げた課題について現状や行政の対応状況などを学びながら、質問項目を各グループ3項目に絞り込んだ。
- ・それぞれの質問項目について、決められた発言時間で質問できるように質問文を作成するとともに、質問に対する答弁を想定しながら再質問の内容を検討した。
- ・グループごとに質問の流れを確認し、質問者役、再質問者役などの役割ごとに実演などを通じて所作を確認した。
- ・議長役及び事務局長役の生徒は、シナリオの読み合わせなどを通じて、進行や所作を確認した。



2 模擬議会当日

日 時：令和3年7月15日（木） 午前9時～午前11時30分

会 場：上越市役所議場

出席者：清里中学校1年生26人、先生4人

正副議長、議会改革推進会議委員、各常任委員会正副委員長、その他議員

- ・生徒は議員等役として議席、議長席、事務局長席に着き、議員は市長、教育長、部長等役として理事者席に着席した。
- ・議長役の生徒の議事進行の下、総務、厚生、農業建設、文教経済の4常任委員会のグループごとに一般質問を行った。
- ・それぞれ6～7人のグループのうち、初めに1人が演壇で3項目の質問をし、答弁を受け、3人が質問席で1項目ずつ再質問を行った。
- ・生徒の質問に対し、議長が市長役、副議長が教育長役、常任委員会正副委員長が部長役として答弁を行った。

（質問及び答弁の内容は、別紙「質問・答弁一覧」のとおり）





3 事後学習

日 時：令和3年7月19日（月） 午前11時40分～午後0時30分

会 場：上越市立清里中学校

出席者：清里中学校1年生27人、先生2人

議会改革推進会議委員

- ・4 常任委員会ごとのグループに分かれ、各自タブレットを用いて「KPT法」により模擬議会の振り返りを行った。

（Keep：継続すること、Problem：課題・問題点、Try：新たに取り組むこと）

- ・振り返りの内容は、各グループの代表生徒が発表した。
- ・先生や議員から模擬議会全体の講評を行った。



4 担当教諭ご感想

上越市立清里中学校 新國 雄介 教諭

模擬議会の取組の出発点として行った活動は、生徒たちが考える「上越市や清里区の疑問や課題」を書き出すことでした。単に疑問や課題を書き出すのではなく、日常生活の中で感じたり考えたりした根拠に基づいて書き出すように指導しました。その結果、地域を様々な視点から考察し、少子高齢化、地域の活性化、交通、不審者対策、災害対策、防犯対策、教育・保育、医療・福祉、自然環境保全、雪対策、農林水産業・商工業の活性化、観光・イベントなど、多岐にわたる分野から約220もの疑問や課題などを列挙するに至りました。生徒たちの問題意識の高さに驚かされましたし、改めて地域を見つめるよい契機となったことに感謝しました。

4つの委員会に分かれた生徒たちが、話し合いを通じて、疑問や課題を整理・統合し、論点を絞り込み、実際の質問項目にまとめる過程、そして、実際の議場でそれぞれの役割を果たしながら発表した経験は、大きな財産となりました。生徒たちの表情からは、大きな達成感や充実感が見られ、これらの活動は、社会科や国語科で求められる「思考力、判断力、表現力」の育成のための学習活動であったと判断しています。

今回の経験は、社会科だけでなく他の教科、学級活動、総合的な学習の時間など様々な場面で生きてくると確信しています。特に、社会科においては、3年時の「公民」分野の「地方自治と住民の参加」という単元で、地方自治の仕組みや課題を扱う際に、教材の指導内容と今回の経験とを結びつけ、現実を踏まえた深い理解が得られるように指導したいと考えています。

5 議会改革推進会議座長講評

議会改革推進会議 小林 和孝 座長

7月15日、第2回の中学生模擬議会を実施しました。中学生模擬議会は議会改革の一環として開催しているものです。

コロナ禍により昨年度は中止となりましたが、細心の注意を払い、今年度は清里中学校1年生の皆さんを対象に実施しました。模擬議会当日を挟んで、事前学習を2回、事後学習を1回行いました。そこでは4つの常任委員会に分かれ、各グループ2名の担当議員が質

問項目の絞り込みや進め方についてアドバイスしました。GIGAスクール、雪対策をはじめ地域の安心安全や振興政策、人口減少や地球温暖化対策など地域の課題や社会の問題をしっかりとした視点で捉えていて感心させられました。

議長役生徒の進行の下、本会議の演壇で一般質問をする姿は堂々と落ち着いていました。この体験を通じて「上越市のまちづくり」を考えてくれるきっかけになったことと思います。私たち議員はその熱心な姿に、将来への期待と私たち自身の責任を再認識したところです。

最後に、この中学生模擬議会を受け入れていただきました大塚校長先生はじめ丁寧にご指導くださいました担任の先生や教職員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

6 傍聴議員感想

鈴木めぐみ議員

昨年はコロナウイルスの影響で中止になった中学生模擬議会でしたが、今年度は無事に開催され、初めて傍聴させていただきました。例年だと3年生が行うとのことでしたが、今回は1年生が参加とのことでした。議場に入ってくる時は緊張した表情をしていましたが、議長、副議長や質問する生徒が堂々と発言している姿はとても立派でした。

4班の一般質問が行われましたが、どの班の質問も自分たちの生活の中で感じている事が取り入れられており、全てが大切な問題、提案ばかりで、事前学習からしっかり取り組んでいるという印象でした。こういった模擬議会のように、子どもたちが日頃から感じていることを発言できる場がもっと増えていくといいと感じました。

高橋浩輔議員

清里中学校1年生のみなさん、模擬議会大変お疲れ様でした。事前・事後の学習を含め、議会についてしっかりと学ばれたことはみなさんにとって大きな財産になることと思います。

私は今回、理事者側の席に座っていました。みなさんのすっと伸びた背筋、しっかりと受け答え、そしてぴんと張り詰めた雰囲気を見、初心に返ることができました。

私もみなさんと同じ「1年生」です。心新たに頑張ります。これからも上越市議会に注目してください。ありがとうございました。

宮崎朋子議員

生徒さんたちは、何度もシミュレーションしただけあって、発言も頼もしく堂々としていました。質問も自分たちの身近な課題を扱い、これが本当の議会であれば理事者から良い答弁をもらえただろうとワクワクしました。

私たち議員の仕事や存在の意味を理解してもらうのは難しかったかもしれませんが、生徒さんたちには、これからも日常の小さな課題を「なぜだろう」「どうしたら解決できるだろう」と考える癖をつけてほしいと願います。